

日 時	令和2年8月3日（月）10：00～11：00
出席者	資料 参照
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 協議事項 （1）後期基本計画素案について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
議 事	◎会長、○委員、●事務局
事務局	<p>1 開会</p> <p>企画課事務局にて開会</p>
会 長	<p>2 会長挨拶</p> <p>大学の講義も他の自治体の審議会もオンラインで行うことが多くなっている。現在、対面式で審議会を行うのは当町のみとなっている。会場も密な感じを受けるので、なるべく短時間で終わらせるようにしたい。委員の皆様も簡潔に意見を話していただければと思う。</p>
事務局	<p>新任委員として中井町農業委員会の相原会長に委嘱</p> <p>欠席委員2名、過半数の出席を満たすので会議は成立するものとし議事を進行</p> <p>配布資料の確認</p>
事務局	<p>3 協議事項</p> <p>（1）後期基本計画素案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1、2に基づき、前回審議会が出た意見についての回答について説明
会 長	<p>◎意見はあるか。</p> <p>意見なし。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1に基づき、人口ビジョンについて説明
会 長	<p>【意見】</p> <p>◎本日は人口ビジョンの部分を中心に議論していただくが、人口をどうやって増やすかという政策、施策に対する意見ではなく、基本計画の文章表現を町民目線で分かりやすくするという切り口で意見交換を進めていきたい。</p>
委 員	<p>○少子高齢化は50年前から分かっていたことであるが、国民も政府も議論せずにきたのが現実である。推計では2060年の人口は現在の半分程度に落ち込む。この状況は一気にはではなく徐々にくるわけだが、このときに中井町がどう変化していくか、はかり知れないものがある。例えば広域連携、関係人口、外国人にも絡んでくると思うが、本文の中でこの人口想定をどこかに表現しておく必要がある。確かに数字では人口減少が進んでいくが、その変化を踏まえずに総合計画は変わらぬままいくのではなく、大きく変化せざるを得ないということが想定される。現実、総人口が減る中で、30年、40年というスパンで見ると、中井町も今のまま生き残っているかどうか分からない部分があるが、現実の問題を想定しながら計画を練っていかないと対応できな</p>

会 長	<p>い。例えば、町職員の数が半分になった際に、仕事量に対応できるのか。そうなったときに単独で生き残れるかどうかという問題も絡んでくるため、将来的には考えておかなければいけない。はっきりは書けないが、そういうことも何か示唆をするような表現を入れる必要があると思う。</p> <p>◎この計画は令和7年度までなので、このデータの2065年を想定して書くとちぐはぐ感が出てしまうため、そのあたりは慎重にならなければならない。令和7年度までの町の政策、施策、事務事業について、2065年を見据えて書くべきものがあれば、事務局のほうに審議していただくということになるかと思う。</p>
委 員	<p>○会長の指摘のとおり、後期計画は令和7年度までの計画である。これから総合計画の個別の事業について協議をするが、いきなり人口ビジョンをこういう形で示すことが果たしてよいのか、町民は理解できないと思う。2065年を見据えて施策を考えることも大事だが、今の段階では2025年を目標年次として、現在の人口を維持する中での施策の展開を考えるという捉え方をしたほうがよいのではないか。2060年まで人口ビジョンを示す必要があるのかどうか疑問である。</p>
会 長	<p>◎2065年を一つのゴールとして人口が半減するという想定の中で、2025年での減少のパーセンテージは小さいかもしれないが、それを放っておくと、2060年にはいつの間にか人口が半減するという記述が必要ではないか。2065年にこうなってしまうと示しておきながら、次のページでは、町の5年間の計画内容が記載されているので、その関係性にずれを感じる。2065年までのビジョンを踏まえ、6頁、7頁のマクロ的な文章にプラスし、冒頭に委員が発言されたように、2025年ないし2030年までの、町民がイメージできるレベルのマイナスな部分の風景を見せ、これに対して分野別計画で町の取り組む方向性がひも付されたような表現があるときちんとした計画になるのではないか。事務局で検討していただきたい。</p>
委 員	<p>○西暦と和暦が混合していて分かりにくいので、どちらかに統一してほしい。</p>
会 長	<p>◎おっしゃるとおりなので、統一をお願いしたい。</p>
委 員	<p>○確かに2065年までの推移を見ると悲観的な見方しかできないと感じるが、高齢者といっても元気な方が多く、今後もっと現役で活動される方も増えると思う。そういう意味では単純に年齢区分だけで比較できるものではない。実質的に活動できる方がどれくらいいるかという視点も加味し、現在と将来を比較するという見方も必要だと思う。</p>
会 長	<p>◎人生50年と言われた織田信長の時代の50歳より、現在の70歳のほうが元気かもしれない。医療、科学の発展もあるので、これをそのまま鵜呑みにするわけにはいかないし、この数字を見て全国の自治体が改善に向けて何か施策を打ち出せば、このグラフは確実に変わっていく。何も手を打たなければこうなるということだ。現時点で見たらこうだと言っているだけで、実際は10年も20年もこのままのはずがない。そういう意味ではあまり悲観的に見る必要はないが、楽観的にもならず、町として何をすべきなのかということが少しでも表現されていればいいと思う。特に人口政策は本来国家レベルの話なので、町の領分を越えて国レベル、あるいは県レベルの仕事をする必要はない。そのあたりのすみ分けが必要だと思う。事務局で検討していただきたい。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>次回審議会日程：10月28日（水）。議題はパブリックコメントを踏まえた計画案について。 パブリックコメント：8月31日～</p>
会 長	<p>◎その他、意見、質問、要望はあるか。</p>
委 員	<p>○本日は分野別施策の議論ができると思っていたが、人口ビジョンだけだったので、幾つか意見を</p>

述べたい。教育の分野で学校給食費の無料化を施策に挙げているが、これは町長が掲げている施策だと思うが、総合計画は町の計画である。達成できるであろう施策を目標にするべきなのか。次に、こども園について、人件費がかかるので効率的な運営に努めると書かれている。働き方改革がさげばれ、0歳児から子どもを預ける時代に、何をもって効率というのか。実際、進捗については、前年度の初め、町長が議会の全協で公設民営化の検討を始めると述べたが、1年後の現在、担当課に聞くと全く進んでいないと聞いている。次に、行政改革の中に職員の資質の向上とある。我々が職員の頃とは異なり、近年は選ばれた人材が入庁しているので、職員の資質を計画に載せる必要があるのか。ほかの自治体にはそのような記述は見られないと思う。次に、教育について、2学期制と幼小中の連携、一体教育が言われてきたが、例えば一つの場所で幼小中が連携した教育に取り組むという中井町のビジョンを総合計画で検討すべきだと思う。また、少子化により公共施設の適正化が進められるが、余った施設を生涯学習等で多用途に利用できないか。そういうものを含めて町が先導して検討をしていくべきだと思う。学校関係は教育委員会の所管だが、教育大綱は町長が定め、教育委員会制度も変わったので、行政も含めて検討したほうがいいと思う。最後に、全体的に包括支援システムの構築を図るとなっているが、福祉の現場、包括支援センター、あるいはケアマネの居宅介護サービスで一番の問題は、予想以上に高齢夫婦の世帯、独居老人の世帯が増えていることである。認知症対策、8050問題もあり、民生委員や包括支援センターが手に負えないのが特に認知症の問題で、支援者が不足している。そういう現状を認識し総合計画に反映していかないと、ただ包括支援センター構築を図るだけでは難しい面がある。特にコロナ禍の中では電話相談のみ、予約制ということで介護保険の認定率が落ちているが、包括支援センターや居宅介護サービスでは相談件数が平時の三、四倍ある。そういう現状を見て、後期基本計画の中でその辺を含めて内容を考えてほしい。

会 長 ◎文章の中に、「臨機応変に」、「時宜に応じて」、「柔軟に」などの表現を入れることにより、施策、事務事業を限定せずに固定化させないことで柔軟な対応ができるようになると思う。基本計画はいわば憲法であり、その下に法律、その下に政令、省令、その下にガイドラインがあり、今のご指摘はどの次元のレベルのものに書き込むべきかというのは難しいが、表現を工夫することにより行政に対して浸透させることはできると思う。事務局で検討していただきたい。

委 員 ○総合計画で全てそれを表現してほしいということではなく、前回会長が、いろいろな指標をあまり細かなところまで踏み込むのはどうかと言われたので、そういう中では、福祉も一つ大きな捉え方をしたうえで、人口を含めて町の状況がどうなのかということをご検証しながら総合計画に表現してもらえばいいと思う。当然、福祉も福祉六法が上位にあるので、個別のものはそちらのほうでやるべきであるとは思っている。

委 員 ○「ご意見と回答」について、我々は実際に中井町に住み、具体的にこうしたいという思いを持ってここに出席している。その中で、今までは全体に大きな計画の中であまり細かい話をしては仕方がないというのがあったが、今回の計画でKPIが出てきた。これを遂行してもらえるとということになるので、出口が具体的に見えてきたというのが今回進歩したことだと思う。そして、このKPIの方向をどう変えるかというのが本審議会での我々の役目と認識しており、KPIの書き方や内容がどういうメッセージを持っているかが重要だと思い、意見を出している。今回の回答で残念だったのが、表現に関しては修正するとのことだが、意見に対しては「書いてあります」で終わっているということだ。この先、例えば別の活動として中井町のこういう思いをどうしたらいいのかというのは、別の話にはなると思うが、今日の会議で出たこういったことを酌んでいただきたいと思う。

会 長 ◎こちら事務局でもう一度検討するというのでいいか。

委 員 ○承知した。

会 長

◎以上で審議を終了する。

5 閉会